

# 静岡県部会の取組

---

静岡県 技術調査課

令和5年3月

## 自己評価指標・目標値

### 工事

#### 新・自己評価指標

	指標	目標値 (R6)
1	適正な予定価格の設定	100%
2	低入札価格調査基準又は最低制限価格の設定	100%
3	平準化率	0.8
4	適正な工期設定	100%
5	週休2日工事の実施状況	100%
6	設計変更ガイドラインの策定・活用	100%
7	建設ICTの活用状況	100%
8	受発注者間の工事情報の共有状況 (ASP)	100%
9	総合評価落札方式の導入状況	100%

### 業務

#### 新・自己評価指標

	指標	目標値 (R6)
1	適正な予定価格の設定	100%
2	低入札価格調査基準又は最低制限価格の設定	100%
3	平準化率 (第4四半期納期率)	0.4
4	適正な履行期間の設定	100%
5	設計変更ガイドラインの策定・活用	100%
6	総合評価落札方式の導入状況	100%



新・全国統一指標

それ以外は 中部ブロック独自指標

## 指標・目標値

### 県部会で重点的に進める取組の指標・目標値

重点項目	指標	目標
<b>施工時期の 平準化</b>	<b>地域平準化率<math>\alpha</math></b> $\frac{\text{4～6月期の工事平均稼働件数}}{\text{年度の工事平均稼働件数}}$	<b>【令和6年度】 0.8</b> <small>※県・市町の各平準化率<math>\alpha</math>を加重平均</small>
<b>週休2日推進 工事</b>	<b>週休2日対象工事の設定率</b> $\frac{\text{週休2日対象工事発注件数}}{\text{年度の発注工事件数}}$ <small>(週休2日に馴染まない工事は除く)</small>	<b>【令和6年度】 1.0</b> <small>※県・市町の各設定率を加重平均</small>
<b>ダンピング対策 【工事・業務】</b>	<b>低入札価格調査基準または最低制限価格の設定率</b> $\frac{\text{低入札又は最低制限を設定した入札件数}}{\text{年度の発注件数}}$ <small>(随契等は除く)</small>	<b>【令和6年度】 1.0</b> <small>※県・市町の各設定率を加重平均</small>

## ロードマップ

## ▶ 各市町の年度目標も設定

令和5年1月時点

項目	取組指標			【県+35市町】目標・実績の集計値					【中部ブロック発注者協議会 /県部会】 R6目標	
				R2	R3	R4	R5	R6		
① 平準化	平準化率α	地域平準化率 4~6月期の工事平均稼働件数 /年度の工事平均稼働件数  【県・市町の加重平均】	目標		0.68	0.73	0.78	0.83	地域平準化率 α: 0.8以上	
			実績	0.64	0.66	0.71	やや遅れている			
② 週休2日 推進工事	週休2日対象工事 の設定	設定率 週休2日対象工事発注件数/全発 注工事件数(週休2日に馴染まない 工事は除く)  【県・市町の加重平均】	目標		0.53	0.60	0.74	0.94	週休2日対象工事 設定率: 1.0  (週休2日工事) 適正な工期設定 + 必要経費の補正	
			実績	0.34	0.41	0.48	進捗に遅れ			
	適正な工期設定	実施率 週休2日が確保できる工期設定の有 無 (実施市町/35市町)	目標	0.51	0.86	1.00	1.00	1.00		
			実績	0.37	0.49	0.69	進捗に遅れ			
③ ダンピング対策	(工事)	低入札または 最低制限価格 の設定	設定率 低入札価格調査基準又は最低制限 価格を設定した入札件数/年度の発 注工事件数(随契等は除く)  【県・市町の加重平均】	目標		0.94	0.95	0.96	1.00	低入札又は最低制限 の設定率 1.0
			実績	0.91	0.94	0.95	目標どおり			
	(業務)	低入札または 最低制限価格 の設定	設定率 低入札価格調査基準又は最低制限 価格を設定した入札件数/年度の発 注業務件数(随契等は除く)  【県・市町の加重平均】	目標		0.85	0.93	0.94	0.99	低入札又は最低制限 の設定率 1.0
				実績	0.82	0.85	0.91	概ね 目標どおり		

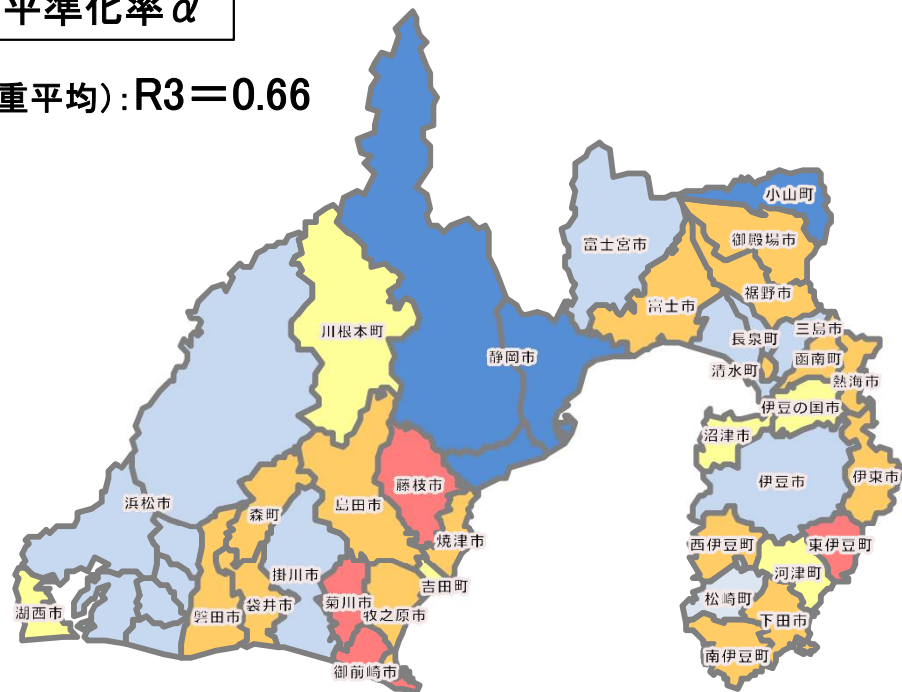
## (1) 施工時期の平準化 【工事】

【目標】 R6年度までに、平準化率 $\alpha \cdot \beta$ を**0.8以上**

【実績】 R3 :  $\alpha=0.66$  → R4 (見込み) :  $\alpha=0.71$  (※加重平均)

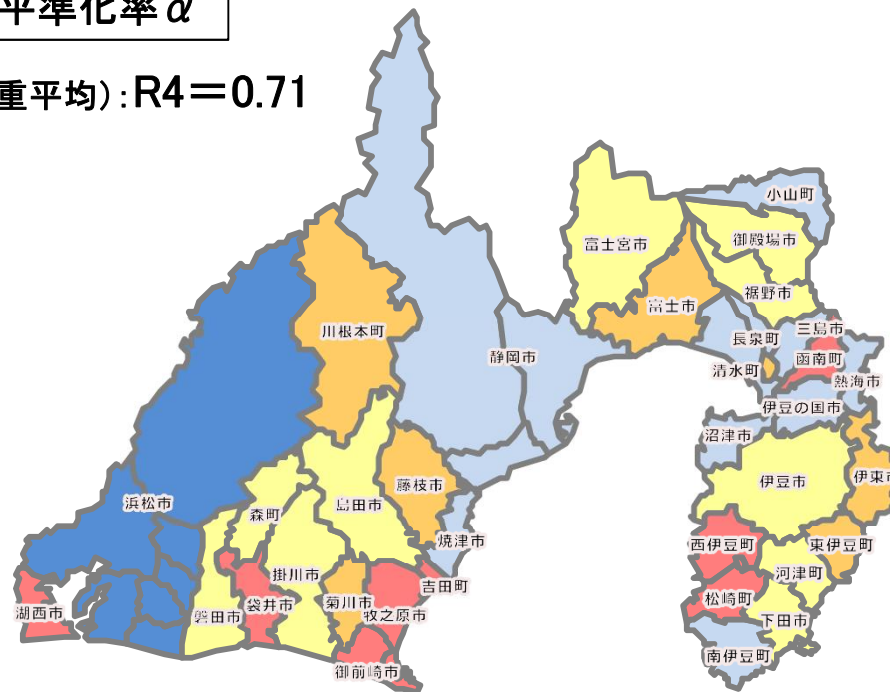
### R3 平準化率 $\alpha$

$\alpha$  (加重平均) : R3 = 0.66



### R4 平準化率 $\alpha$

$\alpha$  (加重平均) : R4 = 0.71



### R3平準化率 $\alpha$

$\alpha$	計
0.8以上	2市町
0.6~0.8	8市町
0.5~0.6	5市町
0.4~0.5	16市町
0.4未満	4市町

### R4平準化率 $\alpha$

$\alpha$	計
0.8以上	1市町
0.6~0.8	9市町
0.5~0.6	10市町
0.4~0.5	7市町
0.4未満	8市町

0.4~0.5 (オレンジ) から0.5~0.6 (黄色) に改善されている市町が多く見られる。

## 市町取組状況のまとめ

### 【好事例】

- **部局を横断した取組（要請、周知、会議）**

（下田市、沼津市、焼津市、藤枝市、島田市）

- **ゼロ債の積極的活用**

（伊東市、沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、富士宮市、富士市、静岡市、焼津市、藤枝市）

- **速やかな繰越手続きの実施**

（松崎町、熱海市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、小山町、静岡市、焼津市、島田市、川根本町、森町、湖西市）

### 【課題】

- 補助事業は事業執行が交付決定のタイミングに左右される。
- 繰越事業が多く、4～6月期の新規発注が進まない。
- 工期が延びると平準化率が悪化する。
- 台風等により災害が発生すると、円滑な事業執行に支障が生じる。
- 早期発注のための人員が足りていない。
- 単年度発注の小規模工事がほとんどで受発注者ともに平準化に対する意識が依然低い。

## 市町平準化率の現状分析のまとめ

平準化率は**債務**の活用と**繰越**の活用が大きく影響する

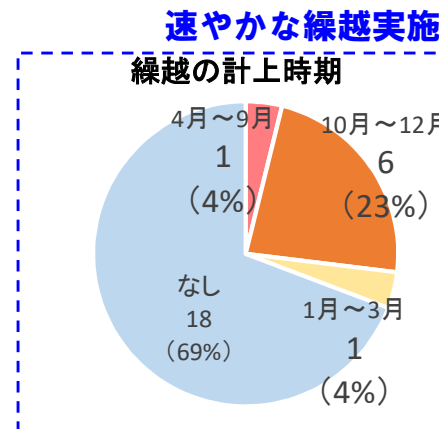
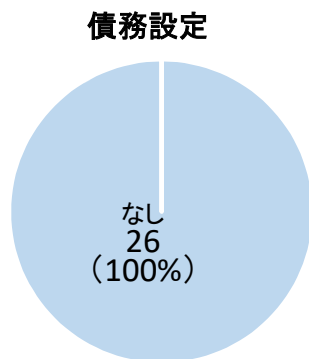
- **債務設定率が15%程度**と高い市町は平準化率が高い傾向
- **繰越の割合が30%~40%**と高い市町は平準化率が高い傾向

### 【好事例】

松崎町

**R3稼働工事: 26件**  
**R3平準化率: 0.70**  
 《対象工事》

- ・ R3稼働工事(過年度契約も含む)
- ・ 契約額130万円以上の工事

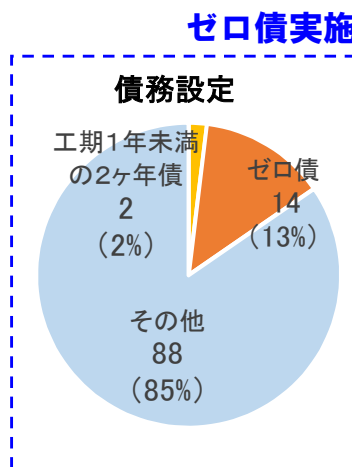


繰越の割合  
が30%

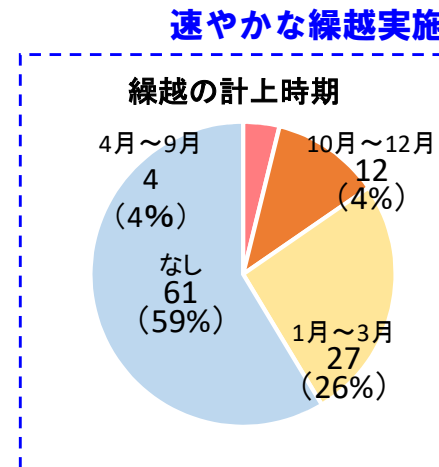
三島市

**R3稼働工事: 104件**  
**R3平準化率: 0.74**  
 《対象工事》

- ・ R3稼働工事(過年度契約も含む)
- ・ 契約額130万円以上の工事



債務の割合  
が15%



繰越の割合  
が41%

## 小山町

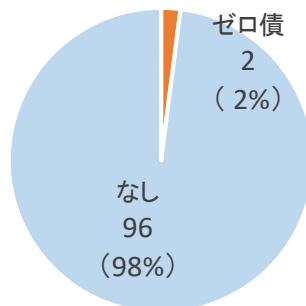
R3稼働工事: 98件

R3平準化率: 0.70

《対象工事》

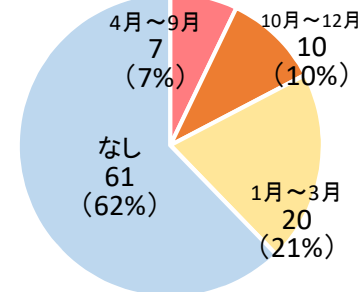
- R3稼働工事(過年度契約も含む)
- 契約額130万円以上の工事

債務設定



速やかな繰越実施

繰越の計上時期



繰越の割合  
が38%

## 静岡市

R3稼働工事: 857件

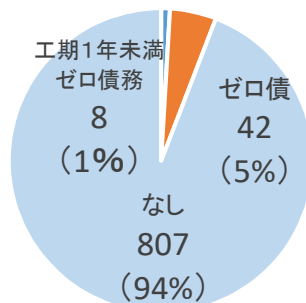
R3平準化率: 0.83

《対象工事》

- R3年度稼働工事(過年度契約も含む)
- 契約額500万円以上の工事

ゼロ債実施

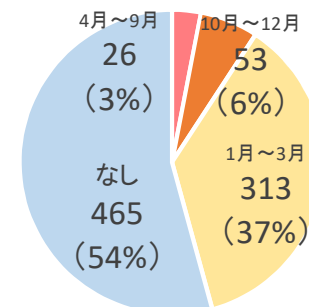
債務設定



債務の割合  
が6%

速やかな繰越実施

繰越の計上時期



繰越の割合  
が46%

## 磐田市

R3稼働工事: 291件

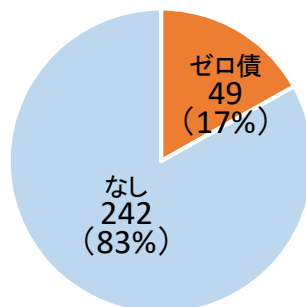
R3平準化率: 0.57

《対象工事》

- R3稼働工事(過年度契約も含む)
- 契約額130万円以上の工事

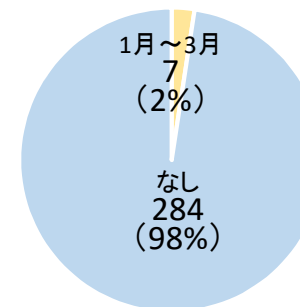
ゼロ債実施

債務設定



債務の割合  
が17%

繰越の計上時期





## (2) 週休2日推進工事 週休2日対象工事設定率

【目標】 R6年度までに、「週休2日対象工事」設定率を100%

【実績】 週休2日対象工事設定率

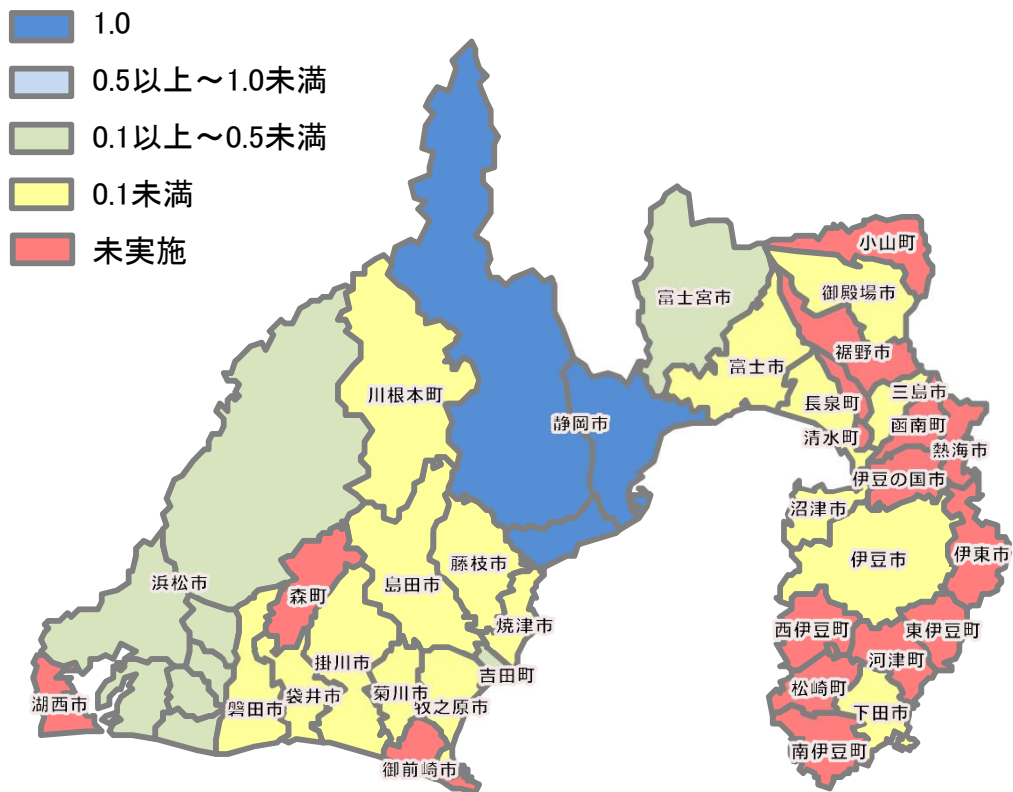
R3 : 41% → R4 (見込み) : 48%

$$\text{設定率} = \frac{\text{週休2日対象工事発注件数}}{\text{全発注工事件数}}$$

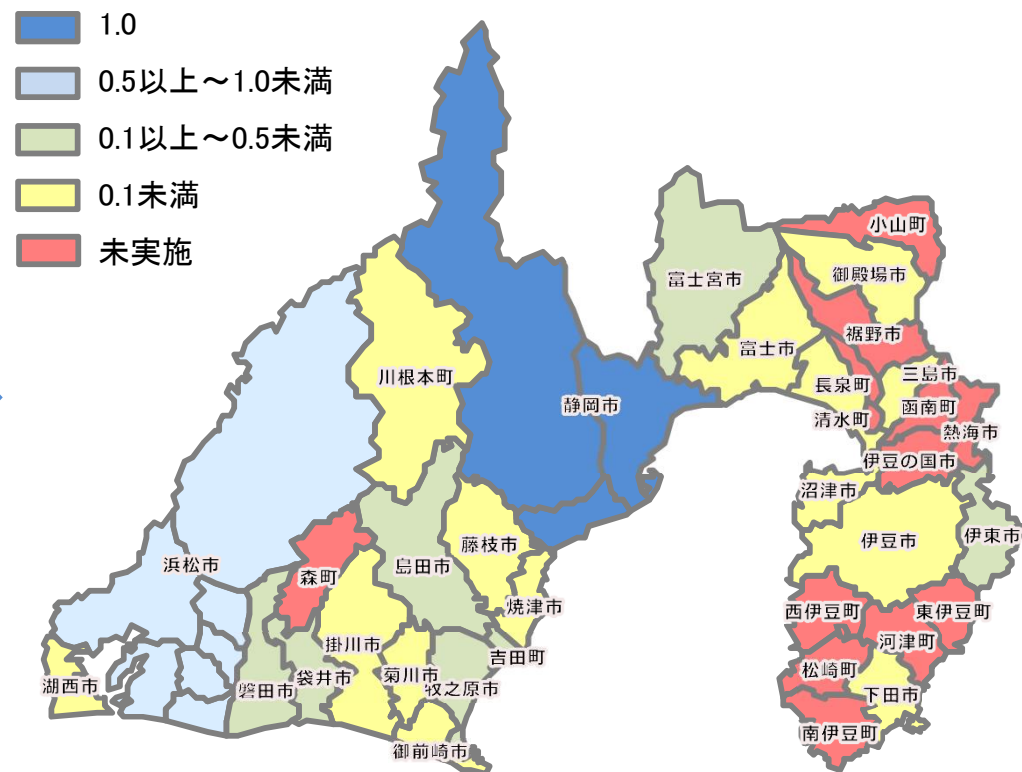
(週休2日に馴染まない工事は除く)

※県・市町の設定率の加重平均

週休2日対象工事の設定率 (R3)



週休2日対象工事の設定率 (R4)



多くの市町で改善が見られたが、賀茂・東部地域の進捗に遅れが見られる。

## (2) 週休2日推進工事

### 適正な工期の設定

【目標】 R4年度までに、週休2日を確保できる工期の設定実施率：**100%**

【実績】 適正な工期実施率

R3：**49%** → R4（見込み）：**69%**

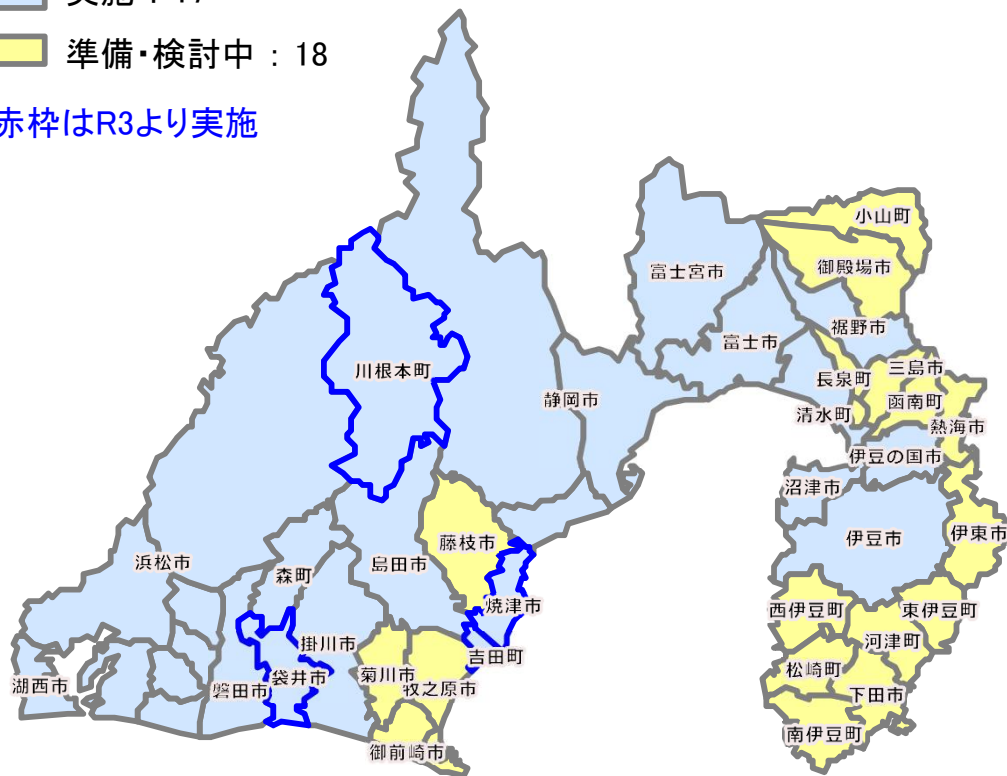
適正な工期の設定

週休2日を確保できる工期の基準を整備（県の基準を準用可）

#### 適正な工期設定 (R3)

- 実施：17
- 準備・検討中：18

赤枠はR3より実施



#### 適正な工期設定 (R4)

- 実施：24
- 準備・検討中：11

青枠はR4より実施



7市町において適正な工期設定を導入したが、目標の全市町導入に至らなかった。

## 市町取組状況のまとめ

### 【好事例】

- **先行している県、他市町の基準を参考に実施要領を策定・適用した。**  
(下田市、伊東市、磐田市、御前崎市、吉田町)
- 水道・下水事業へ**対象工事を拡大した。**(藤枝市)
- **発注担当課ごと目標値を設定し目標達成の見込み**(富士宮市)

### 【課題】

- **週休2日工事の制度(要領)が未導入**である。
- 経費増に伴う**予算措置等の課題**があり、制度を活用できていない。
- **土木工事以外での普及が課題。**
- **受発注者ともに週休2日推進工事に対する意識が依然低い。**

## (3) 低入札価格調査基準・最低制限価格【工事・業務委託】

【目標】 R6年度までに、「低入札価格調査基準」または「最低制限価格」**設定率を100%に**

【実績】 工事：R4（見込み）：**95%**

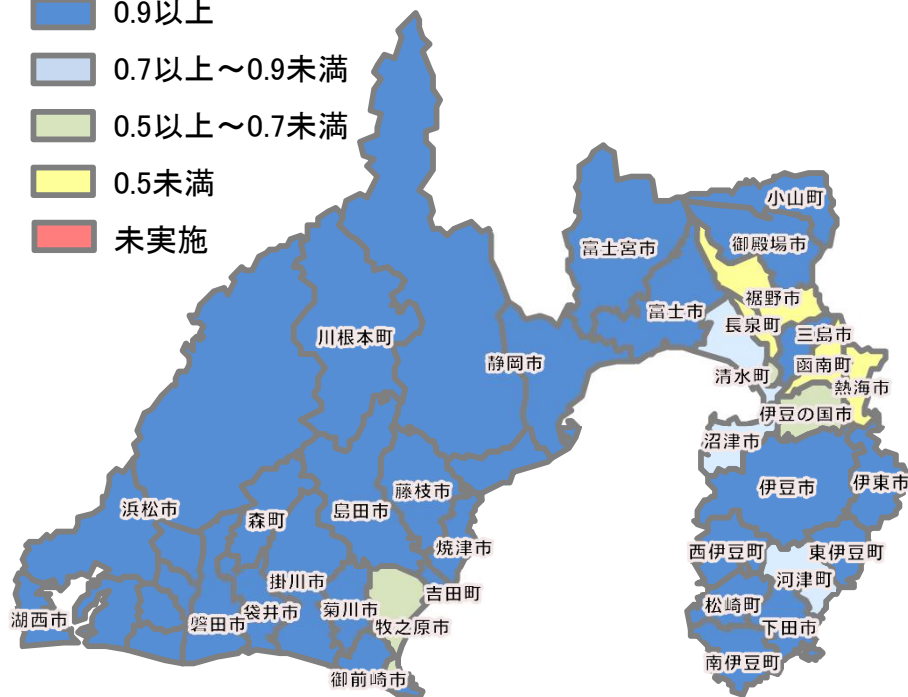
業務委託 R4（見込み）：**91%**

$$\text{設定率} = \frac{\text{低入札又は最低制限を設定した入札件数}}{\text{全発注件数(随契等は除く)}}$$

※県・市町の設定率の加重平均

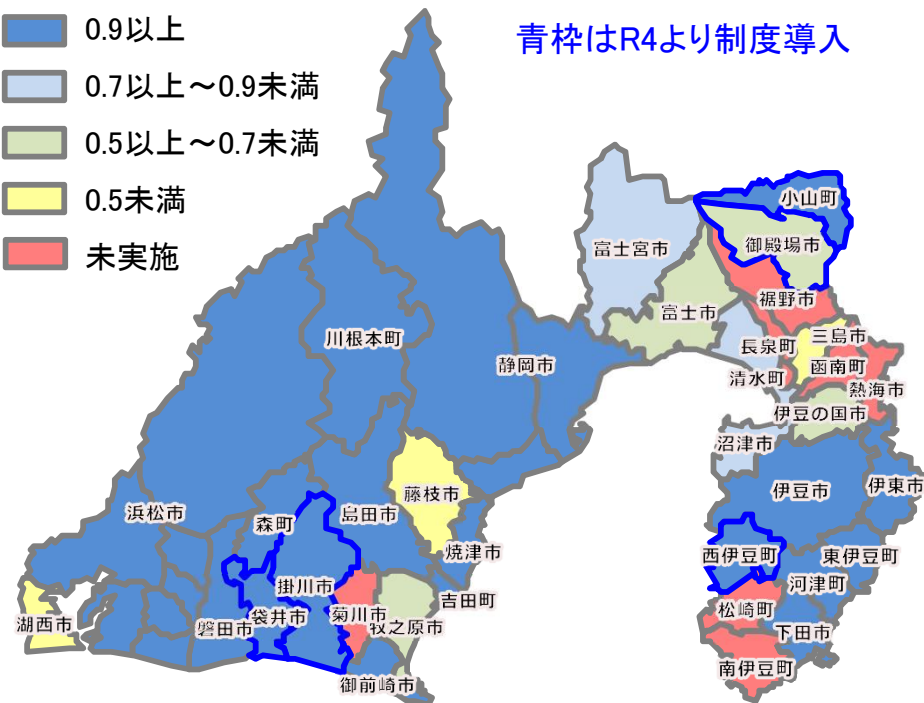
### 【工事】設定率 (R4)

- 0.9以上
- 0.7以上～0.9未満
- 0.5以上～0.7未満
- 0.5未満
- 未実施



### 【業務】設定率 (R4)

- 0.9以上
- 0.7以上～0.9未満
- 0.5以上～0.7未満
- 0.5未満
- 未実施



25市町（71%）が設定率100%を実現している。

賀茂・東部地域の進捗に遅れが見られる。

課題：対象工事・業務の金額要件を設けているところがある。（要件の撤廃）

## 県部会スケジュール

